

学校だより



柏っ子

令和 7年 9月 5日
恵庭市立柏小学校
 恵庭市文京町 3 丁目 3-3
 TEL:32-3579 FAX:32-5504
特別号

あいさついっぱい、笑顔あふれる柏っ子

令和 7 年度 全国学力学習状況調査 本校の結果について

保護者・地域の皆様には日頃より本校の教育活動にご支援・ご協力を頂き誠にありがとうございます。

さて、4 月に 6 年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の本校の結果・分析についてお知らせします。この調査は児童の学力や学習状況を把握し、今後の学習指導に役立てることを目的とし、本校もそれを踏まえて授業改善などに生かしております。なお、結果はあくまで学力や学習状況の一側面をとらえたものです。

1. 学力検査正答率の結果から（全国平均との比較）

教 科	状 況	見 解
国 語	下回っている	・ 本校の学力検査正答率は、全体として全国平均を下回る結果となりました。特に基礎的な知識を活用して考える問題や、記述を伴う問題で差が見られ、学力の定着や活用に課題があることがうかがえます。今後は、授業の中で知識を使って考えを説明させる活動や、思考の過程を振り返る機会を増やし、学力の基盤強化と活用力の向上を図ることが求められます。
算 数	下回っている	
理 科	やや下回っている	

2. 各教科の領域別正答率の結果から（全国平均との比較）

領 域	国語の状況	見 解
話すこと 聞くこと	下回っている	・ 国語では、語彙や漢字など基礎的な知識については全国平均に近い水準でしたが、文章を読み取って自分の考えをまとめる力や、根拠を示して表現する力に課題が見られました。特に記述式の問題では全国平均を下回る傾向があり、考えを整理し書き表す練習が不足していると考えられます。今後は、日常の授業の中で「自分の言葉で説明する」「友達と意見を交流する」といった活動を取り入れ、思考を深めながら文章で表現する力を伸ばしていく必要があります。
書くこと	やや下回っている	
読むこと	下回っている	

領 域	算数の状況	見 解
数と計算	やや下回っている	・ 算数では、基礎的な計算やデータの活用の基本理解は全国水準に近い結果でしたが、数量関係や文章題など思考を必要とする問題では全国平均を下回りました。特に、既習の知識を活用して筋道立てて解答を導く課題に弱さが見られます。今後は、単なる解法の暗記に留まらず、「なぜその考えに至ったのか」を説明させる活動を重視することで、論理的に考える力を育成することが必要です。また、複数の解法を比較し合う学習を通して柔軟な思考を育むことも有効です。
図 形	下回っている	
測 定	下回っている	
変化と関係	下回っている	
データの活用	やや下回っている	

算 数

小学校算数 大問3(3)

数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることができるかどうかをみる問題



正答	ア： $\frac{1}{3}$ イ： $\frac{5}{3}$ 又は $1\frac{2}{3}$
正答率 35.4%	
誤答例	イを $\frac{5}{6}$ 又は $\frac{2}{3}$ と解答

数直線上に示された
数を分数で書く。



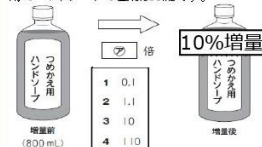
数直線上に示された1より大きい数を、1より大きい分数として捉えて表すことができていない児童がいた。

※分母の異なる分数の足し算（ $\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$ ）はできている（正答率81.5%）

小学校算数 大問4(4)

「10%増量」の意味を解釈し、「増加後の量」が「増加前の量」の何倍になっているかを表すことができるかどうかをみる問題

広告には、つめかえ用のハンドソープが「10%増量」と書かれています。増量前のつめかえ用のハンドソープの量は800mLです。



増量後のハンドソープの量は、増量前のハンドソープの量の何倍ですか。（選択肢式）

10%増量のつめかえ用のハンドソープの内容量が、増量前の何倍かを選択する。

正答	1.1倍
正答率 41.3%	
誤答例	0.1倍 10倍



「10%増量」とは、増加前の量の1.1倍になっていることだと解釈できていない児童がいた。

●数直線上の分数を捉えることや、百分率を倍を使って捉え直し表現することに課題が見られた。

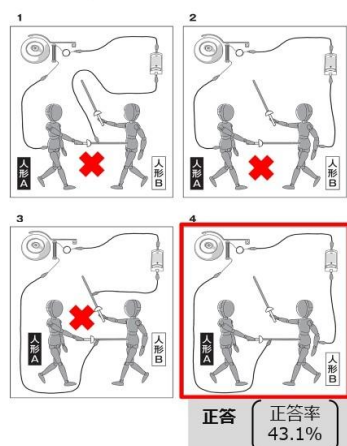
⇒基準となる数を見だし数量の関係を捉えさせることや、数学的な用語や表現について知識の習得と習得した知識を活用する活動を行き来しながら理解を深めていくことが重要。

理 科

小学校理科 大問2(2)

電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる問題

電気を通す物（グレー）と通さない物（白）でできたフェンシングの人形について、人形Aの剣を人形Bに当てたときだけ、ベルが鳴る回路を選ぶ。



電気が通る回路のつくり方に関して理解し、表現できていない児童がいた。

●電気が通る回路を実際の生活の中でつくることに関する理解に課題が見られた。

⇒問題解決や科学的な探究のプロセスを通して、学習を通して身に付けた知識を活用することができるような指導の充実が重要。

5. 取組の充実・改善の方向性

- ◇全国平均を下回っている状況を改善するためには、日常の授業を工夫していくことと、前学年の学習内容の振り返りも大切と考えています。
 - 家庭学習や宿題の取組と日常の授業をつなげ、復習をする習慣をつけて、学力の定着を図ります。
- ◇日常の授業の中で、自分の考えをノートに整理して記述したり、条件を設定した発問を取り入れたりするなどしながら、学力の向上に努めます。
 - ノート指導を見直し、充実を図ります。
- ◇子どもたちが「やる気と自信」に満ちた学校生活を送ることができるように、教職員が一丸となって教育活動の改善に向けて取り組んでいきます。

1 学習習慣の定着を！



自ら計画を立て、やり抜く姿を見守りましょう

- 家庭では子どもが自ら学習計画を立てて実行する中で学習意欲を向上させ、望ましい学習習慣を確立させていくことが大切です。子どもが学習に取り組む姿をほめるなどして自信をもたせるとともに、最後までやり抜くことの大切さを伝えましょう。

子どもとルールを作りましょう

POINT 1

- 本道の子どもたちは、1日の中で、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームなど)をする時間が、全国の子どもたちに比べて長い傾向があります。家庭でルールを作り、規則的な生活習慣を整えましょう。

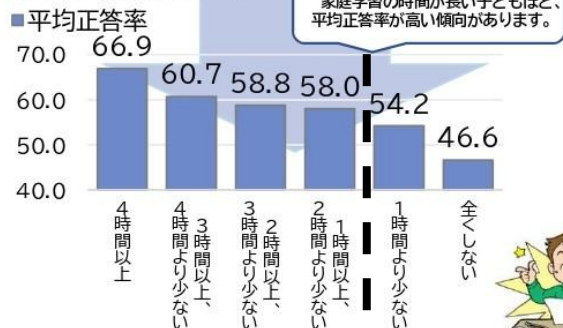
本道の子どもたちの学習習慣(令和7,6年度 全国学力・学習状況調査より)

- 1日当たり1時間以上勉強している子どもの割合が全国と比べて低く、1日当たりのテレビゲームをしている時間の割合が全国と比べて高い傾向にあります。



学習習慣と平均正答率の相関(令和7,6年度 全国学力・学習状況調査より)

【令和7年度】小6 算数



【令和6年度】小6 算数



POINT 2

Point1

- ・ 本校の子どもたちも、テレビゲームやスマートフォンをする時間が、全国の子どもたちに比べて長い傾向があります。また、「スマートフォンやタブレットは持っているが、約束はない。約束を守っていない。」という子どもも多いようです。今一度、ご家庭でのルールの確認をお願いいたします。

Point2

- ・ 1日当たりの学習時間の目安は、「学年×10分+10分」といわれており、6年生ですと70分の学習時間が必要ということになります。児童質問紙の回答から、1時間以上学習している子は **44.2%**、1時間未満の子が **55.8%** います。上の表からも分かる通り、1時間以上学習している子どもほど、平均正答率が高い傾向があります。また、テレビゲームの時間についても、1時間以上ゲームをしている子どもほど、正答率が下がる傾向があります。

学習時間は1時間以上！ゲーム時間は1時間以内にしましょう！！